

仕様

| | | |
|---------------------------|---|--|
| 名称 | アバニアクト ブルートゥースプレイヤー | |
| 品番 | ABP-R02-MS | |
| システム構成 | 本体:ABP-R02-M(制御ユニット内蔵Bluetooth Player、スピーカー側)×1個 専用スピーカー:ABP-R02-S(L/R共通)×1個 | |
| 認証取得 | PSE、TELEC | |
| サポート規格 | Bluetooth SIG | |
| スピーカー仕様 (本体、専用スピーカー共通) | 型式 | 密閉式、インシーリングタイプ |
| | 構成 | 1ウェイ方式、 φ70mmフルレンジHifiスピーカー内蔵 専用スピーカーボックス (低音バスレフ構造+音漏れ低減構造) |
| オーディオ性能 (本体のみ) | 定格入力インピーダンス | 5W 6Ω |
| | 最大オーディオ出力 再生周波数帯域 出力音圧レベル オーディオS/N | 2.5W+2.5W(JEITA 1kHz、1%、6Ω) 30Hz~20kHz 82dB オーディオでコード信号出力部:90db以上 スピーカー出力部:50dB以上 |
| Bluetooth性能 (本体のみ) | LRチャンネルセパレーション | 35dB(スピーカー出力部) |
| | 規格 伝送距離 キャリア周波数 周波数拡散方式 対応ソフトウェア ペアリング台数 | Bluetooth Ver3.0+EDR Class 2 最大半径10m(ただし障害物なきこと) ※1 2.402~2.480GHz FHSS(周波数ホッピング方式) プロファイル:A2DP、AVRCP コーデック:SBC、AAC 同時最大4台まで (リモコン1~4ボタンに対応) |

●上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

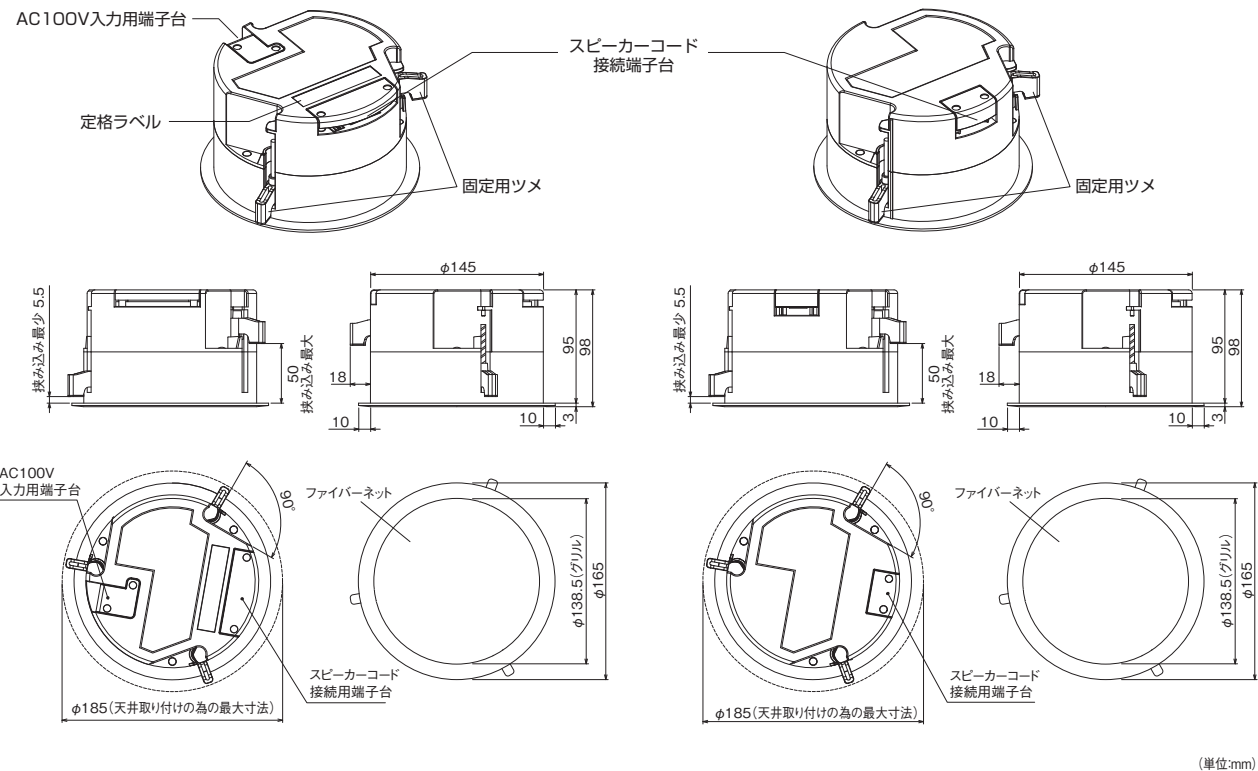
| | | |
|------------------------|--|--|
| 動作特徴 | リモコン操作 | 電源:ON/OFF、ペアリング、 ボリューム:Up/Down/Mute ※2 再生方式:ステレオ/ダイオティック |
| | 省電力機能 | オートパワーオフ :待機状態が10分続くと自動的に電源をOFF |
| 電源 (本体のみ) | 定格入力電圧 出力電圧(内部回路) 最大消費電力 | AC100V 50Hz/60Hz DC10V 2.6A 21W(スタンバイモード時:0.9W以下) |
| | 動作時 | 温度:5~45°C 相対湿度:80%以下(ただし結露なきこと) |
| 環境条件 (本体、専用スピーカー共通) | 梱包保管時 | 温度:0~50°C 相対湿度:80%以下(ただし結露なきこと) |
| | 外形 | 寸法 筐体(本体、専用スピーカー共通) :φ165mm×H98mm 専用リモコン:H111mm×W44mm×D9.79mm |
| 接続推奨 ケーブル | 電源(本体のみ) | VVF φ1.6mm、φ2.0mm Cu単線2芯 |
| | スピーカ (本体、専用スピーカー共通) | スピーカコード VVF(SP) 0.5sq ※最大線長25m以内(25m使用時、出力減衰15%) |
| 付属品 | 取扱マニュアル×1部 施工マニュアル×1部 グリル(ファイバーネット)×2個 専用リモコン(ボタン電池CR2032付)×1個 リモコンスタンド×1個 スタンド取付用ネジキット×1個 プレート×1枚 | |

※1 ご使用の機器によっては、通信距離が短くなる恐れがあります。また機器によっては、誤動作や接続ができない場合があります。
※2 ボリュームコントロールはご使用の機器でも操作が可能です。

寸法図

本体(制御ユニット内蔵 Bluetooth Player)

専用スピーカー



(単位:mm)

Bluetooth Player 施工マニュアル



安全上のご注意

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこの「施工マニュアル」をお読みいただき、本製品を正しく設置・施工してください。

安全に正しくお使いいただくために

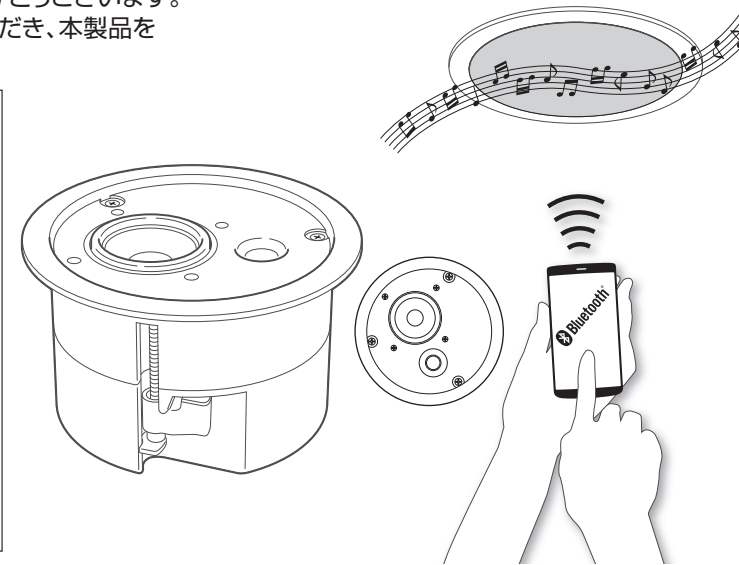
絵表示について

この施工マニュアル及び製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がケガを負う可能性または物的損害の発生の可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例

- ⊘ 禁止(してはいけないこと)を示しています。
- ⚠ 強制(必ず実行すること)を示しています。



据付工事について

- 本製品は十分な技術・電気工事士資格を有する工事専門業者が据え付けを行うことを前提に販売されているものです。据え付け・取り付けは必ず工事専門業者または販売店にご依頼ください。
- なお、据え付け・取り付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損傷については、弊社は一切責任を負いません。

ご使用前に

- ⚠ このスピーカーシステムのインピーダンスは、6Ω推奨です。負荷インピーダンスが6Ω~16Ωのスピーカーを接続し、ご使用ください。
- ⚠ スピーカーを過大入力による破損から守るため下記注意事項をお守りください。
- ⊘ 許容入力以上の入力を入れしないでください。

⚠ 注意

設置時の注意

- ⚠ 取り付けなどに不具合があると落下などの事故につながり大変危険です。組み立て、取り付けは必ず工事専門業者へ依頼してください。
- ⚠ 取り付け前に天井や壁などを調べ、スピーカーシステムの質量に十分耐える取り付け強度があることを確認してください。
- ⊘ ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。
- ⊘ 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くには設置しないでください。スピーカーが変形または変色したり、故障する原因になります。
- ⚠ 取り付けには十分注意し、二人以上で作業してください。
- ⚠ 設置方法については裏面をご覧ください。
- ⚠ 本製品の近くにCRTモニターを設置しているときは、モニターに色ムラが生じる場合があります。色ムラが生じるときは、本製品からCRTモニターを離してください。
- ⚠ 本製品は一般屋内用です。屋外や水気または湿気の多い場所では使用できません。絶縁不良による故障の可能性がります。

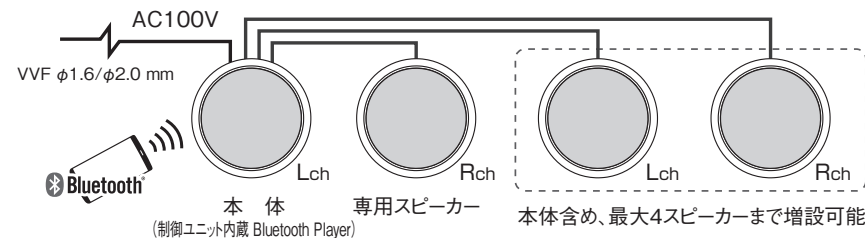
付属品の確認

※セット内容により異なる場合があります。

- ・グリル×2
- ・プレート×1
- ・専用リモコン×1
- ・リモコンスタンド×1
- ・スタンド取付用ネジキット×1
- ・リチウム電池(CR2032)×1
※あらかじめリモコンに取り付け済み
- ・施工マニュアル(本書)×1
- ・取扱マニュアル×1

※あらかじめ本体に取り付けられています。

システム系統図



※増設は必ず専用スピーカーをご利用ください。

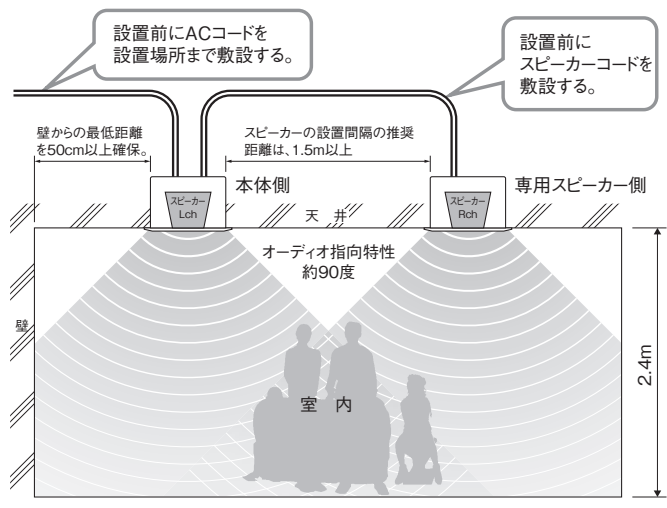
設置の前に

工事専門業者の方へ

設置する前に下記のことを確認してください。

- 設置する場所(天井や壁など)に支柱、配線、または配管がないか確認してください。
- ハリ、照明、ドア、または窓などが障害にならないか確認してください。(製品高さ:95mm、製品最大外径:185mm)
- 取り付け前に天井や壁などを調べ、スピーカーシステムの質量に十分耐える取り付け強度があることを確認してください。
- 本製品は天井や壁などの板厚5mm~40mmに対応しています。天井や壁などの板厚がこの範囲にあることを確認してください。
- スピーカーを取り付ける前に、あらかじめスピーカーコードを設置場所まで敷設しておいてください。
- 本製品は防水仕様ではありませんので、浴室等多湿・水のかかる場所への設置は絶対にお止め下さい。
- キッチン、ダイニング等においては、直接油・湯気のかからない場所への設置をお願いします。油の付着・結露により故障の原因となる場合があります。

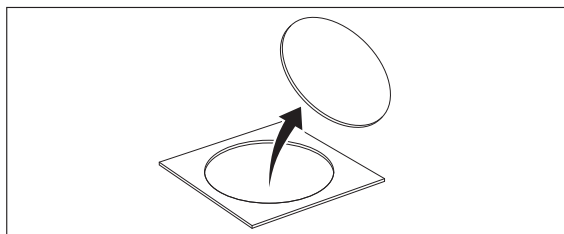
設置場所



設置方法 (1/2)

① 設置場所が決まったら、付属のテンプレートを準備する

- テンプレートの内側を切れ目に合わせて切り離します。(外側を使用します)

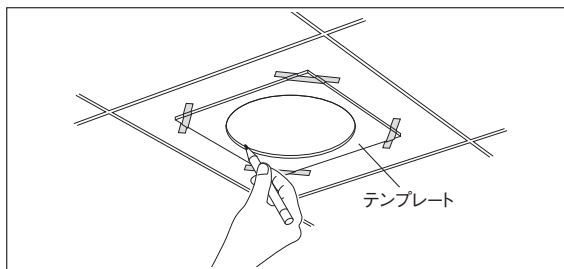


② テンプレート(外側)を粘着テープで設置場所に貼りつける

- テンプレートが設置場所に隙間なく貼りついていることを確認してください。

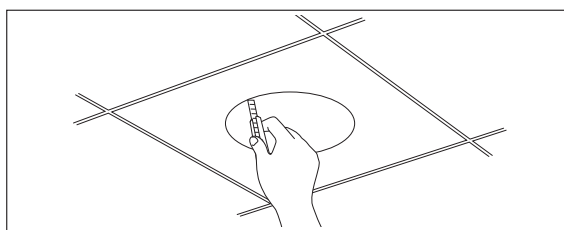
③ テンプレートの内周に沿って設置場所に印をつける

- 製品の外径:φ165mm(室内側から見た時の外径)
- 取り付け穴の開口:φ150mm



④ 印に沿って穴を開ける

- 適切な工具を使用し、穴を開けるときは十分注意してください。

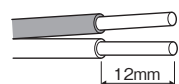


⑤ 開けた穴からACコードとスピーカーコードを引っ張り出す

- ACコードやスピーカーコードを無理に引っ張ったり、急な角度で曲げたりしないでください。

⑥ ACコードを接続する

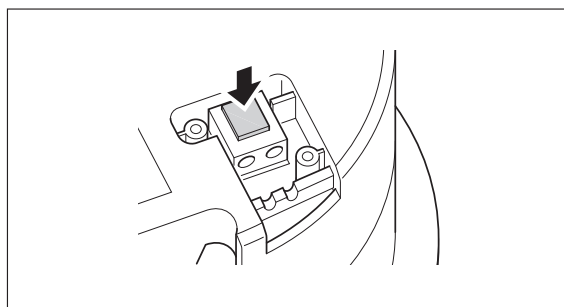
- 入力端子の極性はありません。



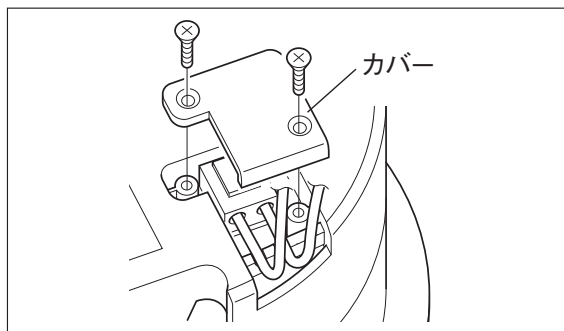
カバー裏のストリップゲージをご利用ください。

※ACコードには推奨電線(VVF φ1.6mmもしくはφ2.0mm)を使用してください。

- 矢印の部分をドライバーなどで押して、コードの先端を穴に差し込んで固定します。

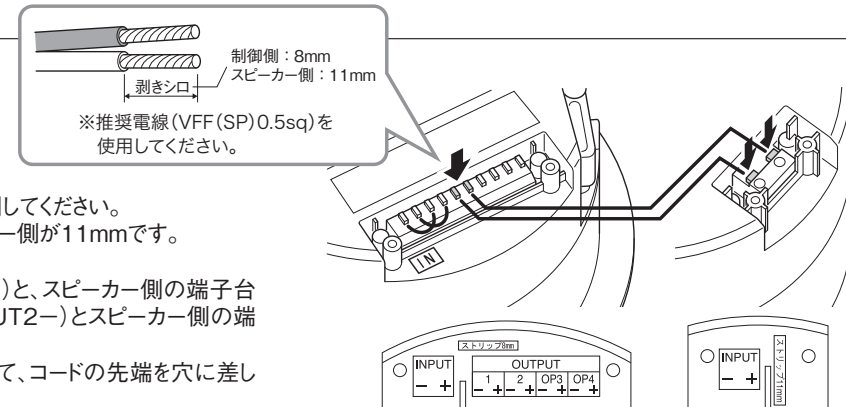


- コードを接続したら、カバーを再度取り付けます。



設置方法 (2/2)

⑦ スピーカーコードを接続する

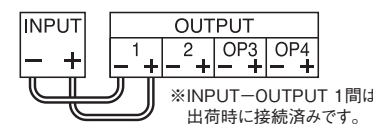


- スピーカーコードには推奨電線(VVF (SP) 0.5sq)を使用してください。剥きシロは制御側が8mm、スピーカー側が11mmです。
- ネジを外してカバーを取り外します。
- 制御側の端子台の(OUTPUT2+)と、スピーカー側の端子台の(+), 制御側の端子台(OUTPUT2-)とスピーカー側の端子台の(-)を接続します。
- 矢印の部分をドライバーなどで押して、コードの先端を穴に差し込んで固定します。

注意

- 端子に接続したあとコードを軽く引いて、コード先端が端子へ確実に接続されていることを確かめてください。接続が不完全だと音が途切れたり、雑音の出る原因となります。
- 端子からコードの芯線がみ出して他の芯線と触れないようにして下さい。芯線どうしが触れているとアンプに過大な負荷が加わって動作が停止したり、故障する恐れがあります。
- コードと入力端子の極性(+,-)を全チャンネルとも正しく接続してください。極性(+,-)を間違えて接続すると、正常なステレオ効果やサラウンド効果が得られなくなります。

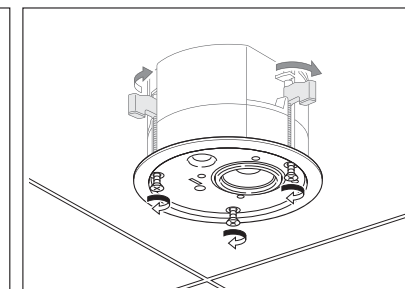
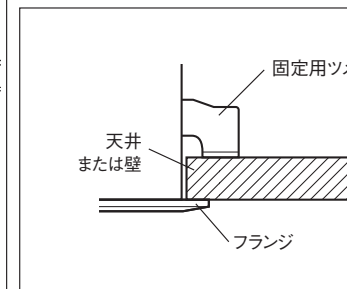
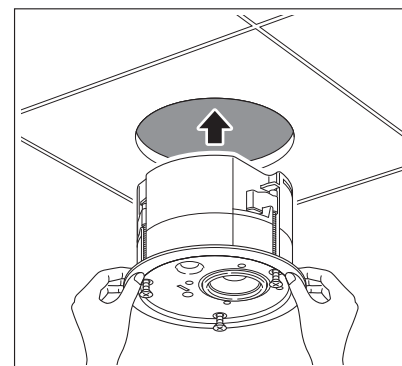
- 接続位置はカバー裏側の表示を参考にしてください。
- コードを接続したら、カバーを再度取り付けます。



※INPUT-OUTPUT 1間は出荷時に接続済みです。

⑧ スピーカーを取り付ける

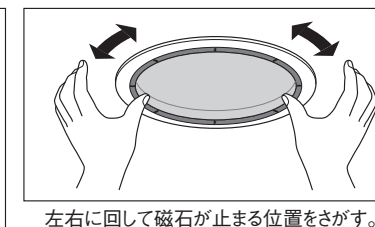
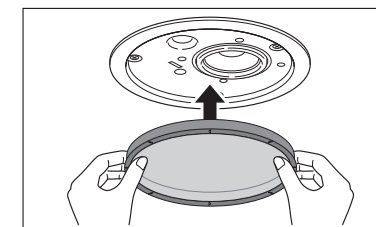
- 本体およびスピーカーを設置場所の穴に挿入し、全ての固定用ツメのネジを軽く締めます。
- 固定用ツメが回転し、ツメとフランジで天井または壁などを挟んだ状態になります。スピーカーを軽く引っ張ってみて、すべての固定用ツメが外側に出ており、天井または壁などを軽く挟んでいることを確認してください。
- すべてのネジを本締めします。
- 電動ドライバーを使用するときは、トルク設定を最小トルクから徐々に大きくし、ネジが回転し始めたトルク付近でネジを本締めします。
- 許容される最大トルク:1.0N・m



- ネジを強く締めすぎると固定用ツメの破損、フランジのねじれ、天井や壁などの破損の原因となったり、グリルが取り付けにくくなりますのでご注意ください。

⑨ グリルを取り付ける

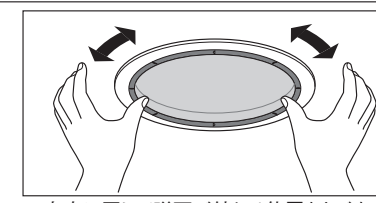
- 本製品は、スピーカの内側ふちの磁石によって、グリルを固定する方式です。
- スピーカーにグリルを当て込み、磁石のすいつく位置へまわしてください。



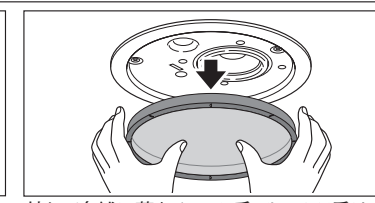
左右に回して磁石が止まる位置をさがす。

※グリルの取り外し方

- グリルをまわすと磁石が外れる位置で取り外すことが可能です。



左右に回して磁石が外れる位置をさがす。



外れて自然に落ちるので、手でしっかり受ける。

- グリルの落下にご注意ください。